

環境調査結果のお知らせ

平成25年3月4日午前9時半から浦ノ内湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温12～14℃、塩分32～33、溶存酸素濃度6～9mg/lでした。
透明度は5～8mで、魚類に対して非常に有害なカレンア・ミキモイがごく少数確認されました。

水温と塩分(表1・2)

湾内の水温は11.86～14.10℃、塩分は31.96～33.05でした。前回調査時(H25.2.7)と比較して、水温は0～2℃上昇、塩分は表層が2上昇していました。

溶存酸素濃度(表3)

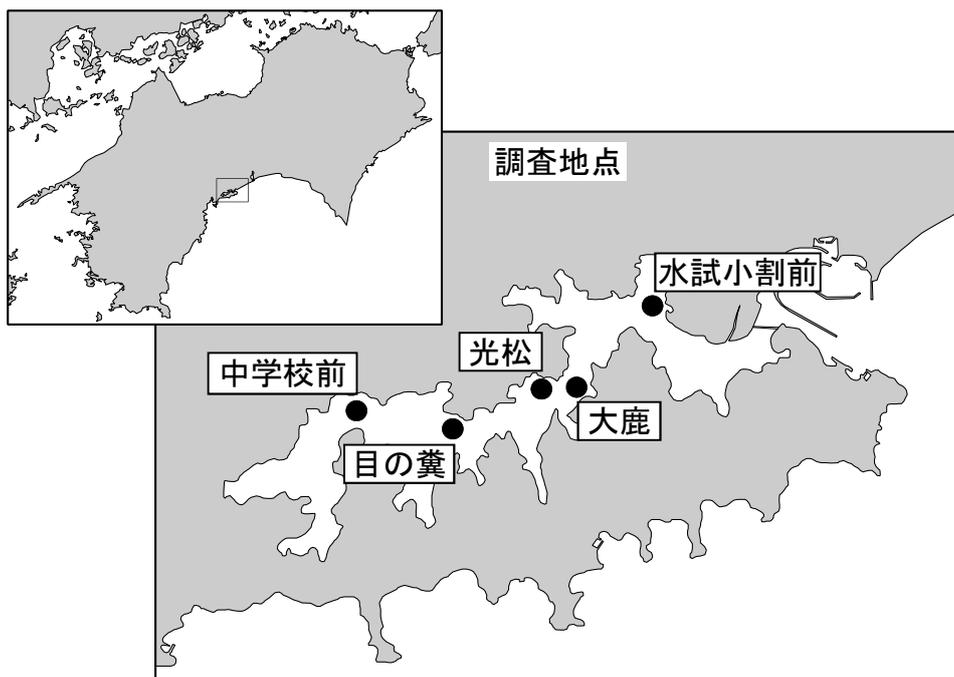
湾内の溶存酸素濃度は6.59～9.34mg/lで、前回より0～1mg/l低下していました。

プランクトン(表4・5)

透明度は4.5～7.6mでした。

検鏡の結果、検鏡の結果、魚類に対して非常に有害なカレンア・ミキモイがごく少数(海水1リットルあたり4細胞)確認されました。その他、貝類の赤変化を引き起こす危険性のあるミリオネクターブラが1cells/ml確認されました。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲む等して、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。



環境調査結果表(水温・塩分・プランクトン等)

表1 水温(°C)

調査地点	中学校前	目の糞	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(H25.2.7)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	11.86	12.34	12.69	13.01	14.10	12.68	11.09	1.59
2m	12.24	12.30	12.78	12.85	13.96	12.64	12.47	0.18
5m	12.99	13.29	13.27	13.29	13.85	13.28	12.96	0.32
10m	12.84	13.24	13.74	13.65	-	13.54	11.84	1.70
B-1m	12.84	12.95	13.21	13.24	13.76	13.13	11.61	1.52

表2 塩分

調査地点	中学校前	目の糞	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(H25.2.7)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	31.96	32.38	32.50	32.54	33.05	32.47	30.74	1.74
2m	32.40	32.38	32.57	32.60	33.04	32.52	32.05	0.46
5m	32.70	32.85	32.81	32.81	33.03	32.82	32.97	▲ 0.15
10m	32.84	32.93	33.03	32.98	-	32.98	32.99	▲ 0.01
B-1m	32.86	32.91	32.96	32.96	33.02	32.94	33.01	▲ 0.07

表3 酸素濃度(mg/l)

調査地点	中学校前	目の糞	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(H25.2.7)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	9.34	9.19	8.84	8.70	8.33	8.91	9.63	▲ 0.72
2m	9.21	9.09	8.73	8.69	8.25	8.84	9.02	▲ 0.18
5m	8.87	8.31	8.55	8.44	8.21	8.43	8.72	▲ 0.29
10m	7.25	7.65	8.18	8.28	-	8.04	8.65	▲ 0.61
B-1m	6.59	7.08	7.19	7.29	8.16	7.19	7.69	▲ 0.50

※ 目の糞・光松・大鹿の平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	中学校前	目の糞	光松	大鹿	水試小割前
水深	13.5	16.7	18.1	17.8	10.5
透明度	4.5	4.9	6.3	6.2	7.6
前回透明度	4.9	5.9	6.0	6.2	6.0

表5 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ミキモトイ	ミリオネクター ルブラ	プロロセントラム属 (トリエステナム、 マイカンス)	ジャイロディニウム 属 (ドミナンス、 スピラレ)	ケイ藻類
中学校前	0m	0.000	1	6	7	0
	2m	0.004	0	1	7	0
	5m	0.000	0	1	1	4
目の糞	0m	/	0	4	1	14
	2m	/	0	1	4	20
	5m	/	0	2	2	0
光松	0m	0.004	0	0	4	24
	2m	0.000	1	0	2	3
	5m	0.000	0	2	0	11
大鹿	0m	/	1	0	2	15
	2m	/	0	5	0	36
	5m	/	0	0	1	17
水試小割前	0m	/	0	0	0	0
	2m	/	0	0	0	32
	5m	/	0	0	1	5

漁業被害が想定される
細胞密度
・カレニア・ミキモトイ(へい死)
500~5,000cells/ml
・ミリオネクター・ルブラ(赤変化)
10cells/ml